

新潟県立体育館整備・運営事業

ユニバーサルデザインワークショップ

みんなで考える、だれもが使いやすい体育館

UDワークショップは、専門家や設計者、そして県民のみなさんが一緒になって、「だれもが使いやすい体育館・公園」を考える場です。障がいのある方やご家族も参加し、体験や意見を共有しながら、みんなで未来の体育館をつくりましょう。

令和7年11月8日（土）13:30-15:30（受付13:00～）

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室

[主催]

秋田アリーナPFIパートナーズ株式会社

[後援]

秋田県

※当日はマスコミの取材を想定しております。

新秋田県立体育館
ホームページです



問い合わせ先：akitaudws@gmail.com



募集人数

募集人数：約20人

対象：障がいの有無に関わらず、県内在住の方

参加費：無料

申込締切日

令和7年10月30日（結果通知：参加者には11月3日までに送付）

応募方法：①右側のQRを読み取り、応募フォームからご応募

②裏面の応募用紙に記入してご応募



※応募方法①または②のいずれかの方法でご応募ください。

※荒天時など中止の場合は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。

※応募多数の場合は、先着順となります

①設計説明

「スポーツ環境とユニバーサルデザイン」

だれもが使いやすい体育館・公園の実現に向けた設計の説明
未来の体育館、公園、みんなが集まる場としての新秋田県立
体育館の提案

講師 仙田 满 先生

（基本設計者 東京科学大学名誉教授）



仙田 满 先生

株式会社環境デザイン研究所会長（創設者）

東京科学大学名誉教授

こども環境学会会長

こどもの遊び環境を研究し、「遊環構造」や「D字体」という設計手法によって国際教養大学
嶋記念図書館、石川県立図書館、長崎スタジアムシティ、エディオンビースウェイブ広島など
様々な施設をデザイン

②ミニレクチャー

「（仮題）ユニバーサルデザインワークショップの事例紹介」

新国立競技場を題材にワークショップで行ったこと、実際に改善されたこと
などを紹介し、着眼点や可能性を伝えます

講師：高橋 儀平 先生

（東洋大学名誉教授）



高橋 儀平 先生

東洋大学名誉教授

日本福祉のまちづくり学会理事

国立競技場建設のユニバーサルデザインアドバイザー、国交省建築設計標準
フォローアップ会議座長、東京都福祉のまちづくり推進協議会会长など。
ユニバーサルデザインの専門家

③グループディスカッション

「バリアを感じた経験談トーク」（仮題）

みなさまをいくつかのグループに分け、
ディスカッションを行います

④発表 / 講評

新潟県立体育馆整備・運営事業
ユニバーサルデザインワークショップ

応募用紙

*印の項目は、必ずご記入ください。

ふりがな * 氏名		年齢		性別 *	男・女	
連絡先	住所						
	電話（携帯可）*						
	E-mail(重要) *						
車椅子の * 使用	有	・	無	付添者 *	いる (1名まで)	・	いない
障がいの * 有無	有	・	無	障がい名			
質問、 ご要望	(付添者がいる場合、付添者の氏名と関係を記載してください)						

応募用紙の送付先： akitaudws@gmail.com

※応募用紙に記入のうえ、スマートフォンで撮影し、上記メールアドレス宛にメール送付してください。

※スマートフォンをお持ちでない方は、PCで下記URLから申し込み可能です。

<https://www.shimz.co.jp/construction/ShinAkitaKenritsuTaiikukan/index.html>

大切なおしらせ

- 1) 応募多数の場合は、先着順となります。結果通知は参加者にのみ送付いたします。
ワークショップ当日の注意事項や来場手段につきまして、後日連絡いたします。
- 2) 荒天時など中止の場合は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。
- 3) 当日はマスコミの取材を想定しております。
- 4) 上記の個人情報は、ユニバーサルデザインワークショップ開催に関する目的のみに使用します。

応募フォームからも
申し込み可能
(スマートフォンが必要)

